

データ工学と情報マネジメント論文特集の発行にあたって



データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長 中島 伸介

データベース技術に代表されるデータ工学分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われている。電子情報通信学会データ工学研究専門委員会が共催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIMフォーラム）では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っている。こうした背景を踏まえ、昨年に引き続き、情報・システムソサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント論文特集」を企画するに至った。DEIMフォーラムで発表された研究を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集したところ、25編の応募があり、厳正な査読の結果、研究会推薦論文をはじめとする7編の論文を採録することとなった。

今回の特集では、今日のデータ工学と情報マネジメントの研究コミュニティの広がりを象徴するように、非順序型データベース、分散データベース、クラウドソーシング、グラフ検索、印象可視化、動画要約まで、幅広いトピックの論文を網羅している。この特集が、データ工学と情報マネジメントの研究コミュニティを

中心に、真に社会に役立つIT革新を生み出す契機となれば幸いである。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにもかかわらず丁寧な査読をして下さった査読委員の方々、並びに編集作業に携わって下さった編集委員の方々に厚く御礼申し上げる。特に、編集幹事の筑波大学 天笠俊之先生、筑波大学 鈴木伸崇先生、駒沢大学 吉田尚史先生には、編集作業全般にわたり多大な御尽力を頂いた。更に、学会出版事務局の江藤忠和様にも大変お世話になった。この場をお借りして、皆様により御礼申し上げます。

最後に、本特集ならびにDEIMフォーラムをはじめ、データ工学と情報マネジメント分野の研究活動が今後益々発展していくことを強く祈念するものである。

なかじま しんすけ  
中島 伸介（正員） 京都産業大学コンピュータ理工学部准教授。1997年神戸大学大学院自然科学研究科 博士前期課程修了。2004年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士（情報学）。2004年情報通信研究機構 専攻研究員。2005年奈良先端科学技術大学院大学助手（2007年より助教）。2006～2009年度情報処理学会データベースシステム研究会幹事、2013年度電子情報通信学会データ工学研究専門委員会副委員長。ACM, IEEE-CS, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本データベース学会各会員。

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長	中島 伸介
幹事	天笠 俊之・鈴木 伸崇・吉田 尚史
委員	牛 尼 剛 聡・大 島 裕 明・太 田 学・小 山 聡
	片 山 薫・河 合 由起子・熊 本 忠 彦・鈴 木 優
	田 島 敬 史・戸 田 浩 之・豊 田 正 史・橋 本 隆 子
	藤 原 靖 宏・馬 強・義 久 智 樹・渡 辺 知 恵 美